



2019年10月29日

各 位

会 社 名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 荻原 豊  
(コード番号 4569 東証第1部)  
問 合 せ 先 グループ経営企画統轄部 部長 谷藤 功典  
電 話 03-3525-4707

## マイクロ流路型遺伝子定量装置「GeneSoC®」の新発売について

キョーリン製薬ホールディングス株式会社の子会社である杏林製薬株式会社(本社:東京都千代田区、社長:荻原 茂、以下「杏林製薬」)は、このたび、「マイクロ流路型遺伝子定量装置 GeneSoC®」(以下、GeneSoC®)および専用測定チップを研究用機器として11月11日に新発売いたします。また、GeneSoC®専用測定試薬については、順次発売する予定です。

当社は、プロモーション活動に関して、アズワン株式会社(本社:大阪府大阪市西区、社長:井内 卓嗣、以下「アズワン」)と共同で行うとともに、アズワンの有する全国の販売ネットワークを通じて販売を行います。

GeneSoC®は、国立研究開発法人産業技術総合研究所(以下、「産総研」)が開発したマイクロ流路型サーマルサイクル技術\*1を応用し、杏林製薬が産総研と共同で開発した短時間(5-15分程度)で試料中のターゲット遺伝子を同定することができる、小型の超高速遺伝子定量装置です。本装置は迅速・適確・簡便にヒト・動植物・微生物の遺伝子や微生物が有する薬剤耐性遺伝子等を同定できる超高速遺伝子定量装置として、基礎・臨床研究ならびに感染症をはじめとする各種検査・診断分野への応用が期待されます。

杏林製薬は、GeneSoC®を医療機器として届出し、専用の体外診断薬キットの発売を目指すとともに、GeneSoC®による診断事業によって、感染症の治療・診断・予防の事業モデルを確立し、感染症対策へ一層の貢献をしております。

### 「GeneSoC®」製品概要

- ・超高速定量的 PCR\*2 技術に基づく迅速な遺伝子検出(5-15分程度)
- ・POCT\*3 を見据え小型化された卓上 PCR 装置



※1 マイクロ流路型サーマルサイクル技術：複数のヒーター上に接した微小流路(専用測定チップ)内にて測定試料を繰り返し往復移動させることによってPCRを行う技術。なお、杏林製薬は本技術に関する独占実施権を産総研より許諾されております

※2 PCR(Polymerase Chain Reaction)：ポリメラーゼ連鎖反応のことで、遺伝子を増幅させる技術

※3 POCT(Point of Care Testing)：ベッド(患者)サイドで医療従事者が行う検査

本件の2020年3月期の業績予想に与える影響は軽微です。

以上

## 参考資料

### ◆ アズワン株式会社について

設立:1962年

社長:井内 卓嗣

売上高:667億3318万円(2019年3月期)

従業員:557名(2019年3月末現在)

事業内容:研究用機器機材、看護・介護用品、その他科学機器の販売

概要:1933年(昭和8年)、井内盛栄堂商舗として創業。2001年東証一部上場を機に、アズワン株式会社に社名変更。研究・産業・医療分野の400万点近い品揃えをカタログ・WEBを媒体としながら販売店経由で販売する独自のビジネスモデルを展開する、理化学機器の総合商社です。研究者の求める専門的かつ広範な商品・サービス・情報の流通の要となり付加価値を提供することで科学技術の発展に貢献しております。